

第5学年 算数科学習モデル指導案

1. 単元名 「くらべ方を考えよう」

2. 本時について

(1) 本時の目標

○百分率と単位量あたりの大きさの知識を組み合わせ用いて考え、判断できるようにする。

(2) 本時の展開(15分の展開)

分	教師の支援	学習活動
2	<p>●問題を提示し、百分率と単位量あたりの大きさの2つの考え方が必要であることをおさえる。</p>	<p>T: この2つのお店があった場合、みなさんはどちらで買い物をしたいですか。</p>
<p>☆ワークシート「どちらのお店で買いますか。」を配布し、2つの店の商品を買ったときの代金や買えるg数を計算させて、どちらの店で買いたいか考えさせる。</p>		
4	<p>●A店の割り引き後の代金、B店の増量後のg数を計算させる。</p> <p>A店 式 $600 \times 0.75 = 450$ 答え 450円</p> <p>B店 式 $200 \times 1.4 = 280$ 答え 280g</p> <p>これだけではくらべることができないことをおさえ単位量あたりの考え方をを使うことに気づかせる。</p>	<p>T: どちらのお店で買いたいですか。</p> <p>C: これだけでは、どちらがよいかかわからないよ。</p> <p>C: 1gあたりの値段を求めればいいんじゃないかな。</p>
4	<p>●1gあたりの値段を計算させて、再度どちらが買いたいか考えさせる。</p> <p>(1gあたりの値段)</p> <p>A店 式 $450 \div 200 = 2.25$</p> <p style="text-align: right;">答え 1gあたり2.25円</p> <p>B店 式 $630 \div 280 = 2.25$</p> <p style="text-align: right;">答え 1gあたり2.25円</p>	<p>T: では1gあたりの値段を求めてみましょう。そして、どちらのお店で買いたいかもう一度考えましょう。</p> <p>C: 2つのお店とも2.25円だ。</p> <p>C: あれ?どちらも変わらないのかな?</p>
3	<p>●百分率と単位量あたりの大きさの知識を組み合わせることで、自分にとってよりよいものを選んだり、新しい視点が発見できたりすることに気づかせる。</p>	<p>T: どちらのお店で買いたいか自分の考えを発表しましょう。</p> <p>C: ぼくは安いからAのお店で買うな。</p> <p>C: 私は家族が多いから量のあるBのお店で買うよ。</p>
<p>☆キャリアの宝につながる解説(児童への落とし込み)をする。</p>		
2	<p>今日の問題では百分率の考えだけだと、2つのお店がくらべられないですが、実は単位量あたりの大きさの考えを組み合わせると、1gあたりの値段が同じであることがわかります。このように、いろいろな視点からものを考えていくと、自分の考えの幅が広がります。これは大人になってもとても大事な力です。一方向からではなく様々な視点から物事を考え、自分にとってよりよい選択ができるようにしていきましょう。</p>	